

【ファッションビジネス科 2年】

	カリキュラム	コマ数	担当
一般科目	コミュニケーション活動Ⅱ	30	金田
専門科目	ファッションブランド研究	15	時田
	ECビジネスⅡ	15	野村
	デジタルマーケティングⅡ	15	後日決定
	ブランドディレクター論	15	瀬田
	ショップディスプレイ	15	繁田
	ファッショントレンドⅡ	15	相川
	ファッション経済学	15	たかぎ
	カジュアルアイテム	15	齋藤
	商品企画Ⅱ	15	大方
	ドレスアイテム	15	櫻井
	バイイング演習	15	山根
	接客技術Ⅱ (A)	15	澤田
	接客技術Ⅱ (B)	15	澤田
	外国語接遇	15	たかぎ
	ファッションスタイリング	15	金田
	ヘアメイク応用	15	前田
	ショップマネジメントⅡ	10	松本
	クリエイティブブランディング	30	片山
	実習店舗	30	金田
	特別科目	産学連携プロジェクトⅡ	15
卒業研究		30	川松
卒業制作		50	金田 前田 辻本
ファッションビジネス特別実習Ⅱ		15	萩原 渡邊 金田
選択科目	共通選択科目	30	担当講師
年間履修時間数		480	
年間授業日数		180	

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コミュニケーション活動Ⅱ		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	金田 真哉
授業の目的・目標					
思いやりの気持ちをもって、相手と意思疎通がとれるようになる。コミュニケーションスキルを高め、協調性をもって信頼関係を築けるようになる。					
授業の概要					
グループ活動を通して、コミュニケーションの重要性を理解し、相手と考えや意思を伝え合い、理解し合うことを学ぶ。					
成績評価の方法					
1. 平常点 (主体的な授業参加度) 2. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)				平常点	60%
				学習意欲	40%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
1. オリエンテーション 2. その他学校イベント 3. 校外研修など					時間数 30
その他			関連科目		

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ファッションブランド研究		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	時田 智弘
授業の目的・目標					
コレクション、デザインの特徴をつかむ観察&リサーチ能力、紙を使って服を表現（再現）するクリエイション能力を培います。表現力とチーム力も合わせて学んでください。					
授業の概要					
前半7コマはグループワークによるチームプレイでシルエット全身を作り、後半7コマは個人によるワークになり、アクセサリー、小物などのアイテムを作ります。 世界三大コレクション（パリコレクション、ミラノコレクション、NYコレクション）の中から好きなブランド&シルエットを一つ選んで、そのシルエットを紙（古新聞紙、古雑誌など）を使ってトルソーに再現してもらいます。					
成績評価の方法					
・出席状況 ・授業意欲 ・作品評価				課題	60%
				平常点	20%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
パソコン、ハサミ、カッター、カッターマット、セロテープ、OPPテープ、両面テープ、針金、アルミホイル、ガムテープ、カラーテープなど。					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 自己紹介&授業説明→リサーチ					2
2. グループワークによる作品作り					2
3. ↓					2
4. ↓					2
5. 個人作品制作					2
6.					2
7.					2
8.					1
9.					
10.					
11.					
12.					
13.					
14.					
15.					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度	2026年度		
			科目コード			
授業科目名		授業形態		学科・コース		
ECビジネスII		講義・演習		ファッションビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	30	1	野村 佳祐	
授業の目的・目標						
1年生時に学んだ、ECビジネス(通販)の基礎知識を活かし実践に近いワークメインで商品の魅せ方、また接客や服の知識を活かした文章の制作、細かい作業の反復基礎とワークを通してECでの売れる表現をできるようにする。						
授業の概要						
1年生時に学んだ、ECビジネスの基礎を実践に近いワークメインで反復。ワーク学習を通し、普段使ってる「通販」の詳細を知ってもらおう。基礎、知識を活かしてひとりひとりが実践で学んでいく。						
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> 日々の課題(授業中の習熟度や完成度、提出期限厳守) 学習意欲(出席率、授業に取り組む姿勢や意欲の有無) 最終課題(最後にひとりひとりのEC課題の発表・提出) 					日々の課題	10%
					学習意欲	40%
					最終課題	50%
使用テキスト・教材						
なし						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	オリエンテーション:ECビジネス振り返り□		90			
2.	ワーク:文章力の強化、練習、実践		90			
3.	ワーク:撮影の強化、練習、実践		90			
4.	ワーク:撮影の強化、練習、実践		90			
5.	ワーク:販促強化、練習、実践		90			
6.	ワーク:販促強化、練習、実践		90			
7.	ワーク:販促・動画、練習、実践		90			
8.	ワーク:販促・動画、練習、実践		90			
9.	ワーク:EC全体		90			
10.	ワーク:EC全体		90			
11.	ワーク:EC全体		90			
12.	課題:最終課題に向けての個人制作		90			
13.	課題:最終課題に向けての個人制作		90			
14.	課題:最終課題に向けての個人制作		90			
15.	発表		90			
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)			年度	2026年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
デジタルマーケティングⅡ			講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	30	1	後日決定	
授業の目的・目標						
ファッション業界でのデジタルマーケティング活用事例を理解し、就職先の業務に活かせる。動画を活用した販売促進を行うことができる。						
授業の概要						
ヒト、モノ、コトをプロデュースする力を学問的に学ぶ。 魅力のを見つけ方を養う。 動画編集を習得し、ヒト、モノ、コトをプロデュースする。						
成績評価の方法						
課題提出、最終発表、授業態度を総合的に評価する					最終発表	40%
					課題	40%
					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
必要に応じて資料配布						
授業内容・授業計画						
						時間数
1.	オリエンテーション (学習目標の共有・各種ツールの設定等)					2
2.	マーケティングの応用(トリプルメディアマーケティングについて)					4
3.						
4.	動画制作の企画・構成のメソッド					4
5.						
6.	活用シーンで学ぶ動画戦略					4
7.						
8.	ファッション業界のInstagram・TikTokの活用事例と、効果的な活用方法□					4
9.						
10.	ショート動画の特徴(SNSにおけるアルゴリズム)と制作方法					2
11.	セルフプロデュース動画を企画・制作・発表					6
12.						
13.						
14.	商品のプロモーション動画を企画・制作・発表					4
15.						
その他			関連科目			
※適宜、課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)			年度	2025年度		
			科目コード			
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
ブランドディレクター論			講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	30	1	瀬田 新介	
授業の目的・目標						
<p>1. ファッション・ライフスタイルブランドの世界観設計の基礎知識にかんする学習。 2. ブランド世界観に基づく商品・マーケティング及びストーリー・流通に関する戦略事例の学習。3. 前述1. と2. で得た知識の実践方法の習得。</p>						
授業の概要						
<p>全15コマを3つの授業目的・目標毎に振り分け、それぞれの内容を様々なビジネス規模の具体的なブランド事例にそって分析し、その具体的事例検証のグループディスカッションとプレゼンテーションを通じて本科目の目的・目標を達成すること。</p>						
成績評価の方法						
<p>1. 学習・成長への意欲 2. チーム(班)プレイヤーとしての役割 3. ブランド世界観設計の基礎知識の習得度と自信</p>					平常点	40%
					課 題	20%
					グループ演習	40%
使用テキスト・教材						
<p>資料配布 配布資料は原則参照元を開示し、授業後の参照元の自主フォローアップを課題としていきます。</p>						
授業内容・授業計画						
						時間数
1. 自己紹介・3か月間の授業内容と目的の紹介・この科目でのブランドディレクターの定義づけ						
2. ブランドの世界観設計の具体例紹介(SUPREME)、グループワーク用アンケート資料配布と説明						2
3. 前回配布した資料について各人からの短時間のプレゼンテーション						2
4. 前回配布した資料について各人からの短時間のプレゼンテーション、フィードバックと今後の授業での活用について						2
5. ブランドの世界観設計の具体例紹介と比較(NIKEとadidas)、						2
6. ブランドの世界観設計の具体例紹介と比較(NIKEとadidas)、6コマ目までの授業内容のレビューと質疑応答						2
7. ブランド世界観に基づく商品戦略事例：ブランド価値向上としてのコラボレーション						2
8. ブランド世界観に基づくマーケティングおよびストーリー戦略事例：ブランドキャンペーンとリスク						2
9. ブランド世界観に基づく流通戦略事例：実店舗とデジタル、後半6コマのグループワーク形式の説明						2
10. グループワーク1：各班でブランドを選びブランド価値向上のためのコラボレーションとその流通戦略立案						2
11. 各班の戦略案プレゼンテーションと他班からのフィードバック						2
12. グループワーク2：1と同じ班、ブランドでブランドキャンペーン戦略立案						2
13. 各班の戦略案プレゼンテーションと他班からのフィードバック						2
14. 前回までのグループワークへの講師からのフィードバックと総評						2
15. 科目内容全体についてのレビューとオープンディスカッション						2
その他			関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	2026年度	
				科目コード		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
ショップディスプレイ			講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	30	1	繁田 和美	
授業の目的・目標						
売り場づくりの基本である【商品陳列】から【演出】について、VMDのさらなる技術の習得と応用。ブランドコンセプトや商品特性に基づく演出計画とインスタレーション技術を身につける。						
授業の概要						
1年時に学んだ VMDの基礎知識を応用して、ブランドのイメージ戦略をビジュアル化する技術を身につける。自ら企画立案、計画に基づくインスタレーションを作成し、売場づくりや展示会において顧客の心を掴む発想力を訓練する。						
成績評価の方法						
課題（総合課題の完成度、プレゼンテーション）					課題	50%
提出物（提出の有無、提出物の完成度）					提出物	30%
学習意欲（学習意欲の有無、取組む姿勢、主体的な授業参加度）					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
・資料等配布						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 売場の基礎知識／オリエンテーション			2			
2. 出店のVMD			2			
3. 店舗リサーチ（フィールドワーク）			2			
4. 計画①プレスト、リサーチ			2			
5. 計画②図面作成			2			
6. 計画③予算とのすり合わせ			2			
7. シミュレーション①実寸で考える			2			
8. シミュレーション②ブラッシュアップ			2			
9. 準備 現場設営タイムスケジュール			2			
10. 現場設営			2			
11. 現場設営			2			
12. 現場設営			2			
13. 現場設営			2			
14. 現場設営			2			
15. 講評&まとめ			2			
その他				関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ファッショントレンドII		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	相川 克彦
授業の目的・目標					
<p>ファッションを通じて社会に新たな価値を創出するための創造力・想像力・表現力・コミュニケーション力を身につけることを目指す。</p> <p>ファッション関連の各種検定やコンテストへの挑戦、就職活動に役立てる。学びを通して自身の興味・適性を明確にし、希望する職種や企業選択など、将来のキャリア形成に向けた「自分さがし」にもつなげる。</p>					
<p>パリ、ミラノ、ニューヨーク、ロンドン、東京などファッション先進都市のファッションウィークの最新動向やSNS、生成AI、韓国・中国ファッションの影響など、急速に変化する業界の“今”を捉え、社会情勢と合わせて分析する力を養い、それをどのように自身の仕事に落とし込むことができるか考える基礎を築く。</p>					
成績評価の方法					
1. 出席率 2. レポート課題（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢） 3. 授業意欲（主体的授業参加度） これらの要件で総合的に評価する。				出席率	30%
				レポート課題	40%
				授業意欲	30%
使用テキスト・教材					
ファッション・ビューティ専門紙「WWDJAPAN」、デジタルメディア「WWDJAPAN.Digital」（INFASパブリケーションズ）					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. ファッションの社会的役割とは？			1		
2. ラグジュアリーブランドの構造(LVMH)			1		
3. グローバル化とファッション			1		
4. 生成AIはファッションをどう変えるのか？			1		
5. 百貨店衰退の要因			1		
6. ファストファッションとは何か			1		
7. ファッションと環境問題			1		
8. ファッションにおけるSDGs			1		
9. SNSマーケティングとデータ戦略			1		
10. 生成AIはファッションをどう変えるのか？			1		
11. サプライチェーンの工程理解			1		
12. ファッションメディア変革の時			1		
13. 2027年春夏メンズトレンド予測			1		
14. 注目すべき日本のファッション企業			1		
15. 2027年のファッション展望			1		
その他			関連科目		
※予め「WWDJAPAN」に目を通して授業に臨むこと。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度		
				2026年度		
				科目コード		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
ファッション経済学			講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	30	1	たかぎ こういち	
授業の目的・目標						
業界全体を俯瞰し、且つグローバルな業界サプライチェーンから消費者に届くまでの多層化された流通を理解する。業界の可能性と改善点の自覚を促しより未来ある業界に貢献してもらう。						
授業の概要						
教科書のリーディング、解説と各自の疑問点への解説。時事問題に絡めた解説で複数の視点から今を見る習慣に結び付けて行く。						
成績評価の方法						
1) 平常時の参加意欲、学ぶ意欲の評価。 2) 夏休みの読書感想課題の評価				平常点	70%	
				課題評価	30%	
使用テキスト・教材						
「あパレウ業界のしくみとビジネスがしっかりわかる教科書」 技術評論社						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. シラバスと授業の意義の解説・映画鑑賞			2			
2. アパレル業界の現状と動向-1			2			
3. アパレル業界の現状と動向-2			2			
4. アパレル素材-1			2			
5. アパレル素材-2			2			
6. アパレル製品を製造-1			2			
7. アパレル製品を製造-2			2			
8. アパレル製品の販売-1			2			
9. アパレル製品の販売-2			2			
10. アパレル業界の多様な職種-1			2			
11. アパレル業界の多様な職種-2			2			
12. ファッション市場の現状と動向			2			
13. アパレル業界の将来像			2			
14. 最新情報かもたらす未来			2			
15. まとめと夢を実現する方法解説			2			
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)			年度	2026年度		
			科目コード			
授業科目名		授業形態		学科・コース		
カジュアルアイテム		講義・演習		ファッションビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	30	1	齋藤 一輝	
授業の目的・目標						
現代衣料デザインの大本・元ネタとなっている代表的なアイテム型、ディテール、歴史を解説し名称や何故その形なのかを理解することで洋服の作りを知ると同時に今後販売員として接客で、バイヤーとして買付や展示会時に、生産企画やブランド営業としてプレゼン等…都度実践的に使える知識を身につけてもらうのが目標。実習店舗運営にも繋がればと考えております。						
授業の概要						
基本的にはホワイトボードとTVを繋げての参考資料と絵型による座学。各アイテム別に詳細と歴史を説明していきます。本年度はコマずつの授業になりますので、座学→翌週グループに別れテーマに沿ったアイテムを使用したスタイリングとプレゼンテーションを行いたいです。最終課題は一人1スタイリング組んでの発表とします。						
成績評価の方法						
・最終課題（完成度/独自性/授業での知識が身につけているかなど） ・座学での授業態度/熱心度・グループプレゼン（その授業で教えたことが応用できているか/協力的な積極性）					最終課題	40%
					学習意欲	30%
					プレゼン	30%
使用テキスト・教材						
モダリーナ ファッションアイテム図鑑						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 本授業についてはじめに / 自己紹介			2			
2. コートの種類 (メンズ・レディース)			2			
3. ミリタリーウェア (主に上着中心)			2			
4. ミリタリーウェア スタイリングプレゼン			2			
5. デニムパンツジーンズの代表的型/歴史			2			
6. デニムパンツ スタイリングプレゼン			2			
7. デニムジャケットの代表的型 / 歴史			2			
8. デニムジャケット スタイリングプレゼン			2			
9. ニットアイテムの素材種類 型数			2			
10. テーラードジャケット(カジュアル目線)			2			
11. テーラードジャケット スタイリングプレゼン			2			
12. レザージャケット 皮革の種類 代表型			2			
13. レザージャケット スタイリングプレゼン			2			
14. 最終課題制作			2			
15. 最終課題発表			2			
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)			年度	2026年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
商品企画Ⅱ			講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	30	1	大方 和則	
授業の目的・目標						
①ビジネスコンテストにむけた事業計画書を作成できる。 ②ビジネスコンテスト入賞を達成できる。						
授業の概要						
商品企画Ⅰで立案した事業計画書をブラッシュアップし、ビジネスコンテストに応募し入賞を目指していく講義です。						
成績評価の方法						
事業計画書の完成度 70% 受講態度 30%					課題	70%
					受講態度	30%
使用テキスト・教材						
必要に応じてレジュメを配布します。						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. ビジネスコンテスト概要の共有			2			
2. 事業計画書のブラッシュアップ 商品戦略①			2			
3. 事業計画書のブラッシュアップ 商品戦略②			2			
4. 事業計画書のブラッシュアップ 商品戦略③			2			
5. 事業計画書のブラッシュアップ 独自化②			2			
6. 事業計画書のブラッシュアップ 独自化①			2			
7. 事業計画書のブラッシュアップ 独自化②			2			
8. 事業計画書のブラッシュアップ 独自化③			2			
9. 事業計画書のブラッシュアップ プロモーション①			2			
10. 事業計画書のブラッシュアップ プロモーション②			2			
11. 事業計画書のブラッシュアップ プロモーション③			2			
12. 事業計画書のブラッシュアップ 収益性①			2			
13. 事業計画書のブラッシュアップ 収益性②			2			
14. 事業計画書のブラッシュアップ 収益性③			2			
15. 総論			2			
その他				関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	2026年度	
				科目コード		
時間数は45分換算						
授業科目名			授業形態		学科・コース	
ドレスアイテム			講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	30	1	櫻井 渉	
授業の目的・目標						
体系化されたメンズドレスファッションの歴史と意義を学び、流動的なレディースファッションと対比することで、現代ファッションへの理解を深め多角的なご案内が出来ることを目的とする。						
授業の概要						
スーツやジャケットといった重衣料から、ダウンジャケットなどのカジュアルウェアまでをカテゴリ別に分けて歴史や意義を学ぶ。生地・サイズ選び、採寸をすることで提案できる幅を広げる事が出来る。						
成績評価の方法						
学習意欲（出席率、授業に取り組む姿勢や意欲の有無）					学習意欲	60%
課題（課題の習熟度や完成度）					課題	20%
ペーパーテスト					テスト	20%
使用テキスト・教材						
メンズファッション大全（織研新聞社）・サンプルなどの商品						
授業内容・授業計画						
			時間数	時間数		
1. メンズウェアの意義・メンズファッションの流行区分			はじめに	2		
2. テーラードジャケットの歴史と意義・特徴と種類				4		
3. スラックス(ボトムス)の歴史と意義・丈直しと採寸				4		
4. ドレスシャツの歴史と意義・サイズの測り方と採寸				2		
5. ネクタイの歴史と構造 Vゾーンの着こなし方と選び方・ネクタイの結び方				2		
6. スーツの歴史と意義・生地、サイズの選び方と採寸				4		
7. コートの歴史と意義 コートの種類を学ぶ				2		
8. アクセサリー全般(ベルト・チーフ)の意義・スーツを着るために必要な付属品				2		
9. 大人のカジュアル着(ピッチェィ・ウオモから紐解くトレンド傾向を学ぶ)				2		
10. 革靴の選び方と手入れの仕方				4		
11. 課題発表(グループ別プレゼン・ペーパーテスト)				2		
その他				関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)			年度	2026年度		
			科目コード			
授業科目名		授業形態		学科・コース		
バイイング演習		講義・演習		ファッションビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	30	1	山根 庸宏	
授業の目的・目標						
<p>アパレルにおけるバイイング業務（機能）の位置付けと役割の理解、および具体的業務について、実地に即した演習と現場での具体例などを交え、感じ取ってもらう。</p>						
授業の概要						
<p>基本的な知識や考え方の説明以外は、演習やグループワークを多くすることにより、学生たちにバイイング業務について、自分で考え、気づきを得られる内容。バイイングおよびバイヤー業務の内容にとどまらず、バイイングから見たアパレル事業全体を理解してもらいたい。</p>						
成績評価の方法						
1. 学習姿勢 2. 課題に対する取組み 3. グループワークでの与えられた条件下での対応力・提案力					平常点	30%
					グループ演習	30%
					課題	40%
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> 資料配布 模擬展示会については展示会サンプルをメーカーより借受 						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	アイスブレイク・自己紹介・学びたいこと		2			
2.	バイイングとは？/バイヤーの役割・機能		2			
3.	バイヤーの目線の作り方		2			
4.	バイヤーの目線の作り方(演習)		2			
5.	マーケティング能力を高める(初級)		2			
6.	Buying GAME (グループ発表)		2			
7.	ブランドの役割・位置付け		2			
8.	ブランドMDを考える (演習)		2			
9.	現場のスタッフに学ぶ1		2			
10.	現場のスタッフに学ぶ2		2			
11.	取引条件を熟知する/数字の考え方		2			
12.	数字の組み立て (演習問題)		2			
13.	模擬展示会1 (変更の場合あり)		2			
14.	模擬展示会2 (変更の場合あり)		2			
15.	最終課題グループ発表		2			
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
接客技術ⅡA		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	澤田 恭子
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ■現場で即戦力となる具体的な手法と高度なテクニックの習得 ■卓越したコミュニケーション能力のマスター ■全国ロールプレイングコンテストに向けた実践トレーニング 					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> ■観察力と会話力の向上によるパーソナル提案の強化 ■個々の対応スキルアップ ■全国ロールプレイング大会出場者選抜 					
成績評価の方法					
学習意欲（授業に取り組む姿勢・向上心） 課題（レポートの内容・完成度・提出期限） 実技テスト（ロールプレイング・レポート） ※これらの要件で総合的に評価する				学習意欲	35%
				課題	35%
				実技テスト	30%
使用テキスト・教材					
資料配布					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. フィッティング・クロージング対応			2		
2. 心理別アプローチ、提案パターン			2		
3. アプローチ方法①観察力			2		
4. アプローチ方法②洞察力			2		
5. 実技①ヒアリング(傾聴力・共感・抑揚)			2		
6. 実技②ヒアリング(会話力・共感・抑揚)			2		
7. 実技③ニーズ確認 (5W1H)			2		
8. 実技④ニーズ確認 (ヒアリング)			2		
9. 目的別提案①顕在ニーズ・潜在ニーズ			2		
10. 目的別提案②比較・足し算提案			2		
11. 目的別提案③比較・引き算提案			2		
12. 目的なし提案			2		
13. テスト練習①			2		
14. テスト練習②			2		
15. ロールプレテスト（出場者選出）			2		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度	
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
接客技術ⅡB			講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	澤田 恭子	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> ■ブラッシュアップした接客スキル ■オールランドプレイヤーのアップグレード ■学内ロールプレイングコンテストに向けたパフォーマンス向上 						
授業の概要						
<ul style="list-style-type: none"> ■実践トレーニングによる戦力化 ■会話のテクニックによる潜在ニーズの把握・提案力の強化 						
成績評価の方法						
学習意欲（授業に取り組む姿勢・向上心）					学習意欲	35%
課題（レポートの内容・完成度・提出期限）					課題	35%
実技テスト（ロールプレイング・レポート）					実技テスト	30%
※これらの要件で総合的に評価する						
使用テキスト・教材						
資料配布						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. イメージトレーニング・言葉の表現			2			
2. 心理別アプローチ(入店～退店)			2			
3. 実技①ファーストアプローチ、ニーズ確認			2			
4. 実技②言葉のバリエーション			2			
5. 実技③会話・話しか方			2			
6. 実技④表現力（共感・抑揚）			2			
7. 実技⑤潜在ニーズ			2			
8. 実技⑥パーソナル提案（顧客作り）			2			
9. 実技⑦比較提案			2			
10. 実技⑧足し算・引き算提案			2			
11. ロープレ①			2			
12. ロープレ②			2			
13. ロープレ③			2			
14. テスト練習			2			
15. ロープレテスト（出場者選出）			2			
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。			※学内ロールプレイングコンテスト開催			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
外国語接遇		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	たかぎ こういち
授業の目的・目標					
増大する海外旅客への接客へのバリエーションを無くし自信をつける。 販売員としてのスキルアップを図る。					
授業の概要					
文章ライティング、例文のリーディングと声に出す。ロールプレイングを毎回実施。文化的背景の違いを理解しグローバルな視点を持つきっかけを提供する。					
成績評価の方法					
1) 授業中の態度、参加意欲等で評価 2) 筆記試験による知識の定着度 3) 映画からのヒアリングと理解度の評価				平常点	50%
				期末試験	30%
				ヒアリングテスト	20%
使用テキスト					
「超入門 日・英・中 接客会話攻略ハンドブック」 織研新聞社刊					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 各自自己紹介と目的、シラバスの解説			2		
2. 現状と将来からの英語の必要性			2		
3. お迎え			2		
4. 聞く知る-1			2		
5. 聞く知る-2			2		
6. 伝える-1			2		
7. 伝える-2			2		
8. 試着-1			2		
9. 試着-2			2		
10. 会計-1			2		
11. 会計-2			2		
12. 会計-3			2		
13. その他のご案内			2		
14. 映画教材を用いたヒアリングテスト			2		
15. まとめ			2		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ファッションスタイリング		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	金田 真哉
授業の目的・目標					
①トレンドスタイリングを把握し先を予測する力を養う。 ②テイストミックスおよび素材コンシャステクニックを身につける。 ③ファッションに影響を与えたカウンターカルチャーを知り知識、技術、着こなしの幅を広げる。					
授業の概要					
①トレンドをおさえ消費者の幅広いニーズに対応可能なコーディネート提案力とは。 ②テイストミックス+素材コンシャスの手法。 ③カウンターカルチャーが与えたファッションスタイルとは。					
成績評価の方法					
1. 平常点 (主体的授業参加度)				平常点	30%
2. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)				課題	30%
3. 実技試験				実技試験	40%
これらの要件で総合的に評価する。					
使用テキスト・教材					
ファッションスタイルクロニクル WWD J A P A N 他資料配布					
授業内容・授業計画					
1. 2026 S/Sトレンド総括。トレンドキーワード解説～まとめ					4
2. 2026 S/Sトレンドスタイリング実践およびセールストーク					4
3. 顧客の様々なニーズに対応する着こなし提案テクニックについて					4
4. 顧客ニーズ+トレンドミックス提案→撮影					4
5. カウンターカルチャー+2026トレンドミックス提案企画書作成					6
6. 企画プレゼン					4
7. 撮影					4
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ヘアメイク応用		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	前田 紗侑里
授業の目的・目標					
ヘアメイクの応用、表現する側の発想力の可能性も広げ、トータルでイメージを演出する力を習得。					
授業の概要					
1年時に習得したヘアメイクの技術を応用し、基礎をおさえ、自由に柔軟な発想でヘアメイク作品を制作し、相モデルをおこなうことにより、表現者(モデル)の気持ちも知り、気遣いも学ぶ。					
成績評価の方法					
・出席状況				出欠席	30%
・授業意欲				授業意欲	30%
・課題提出				課題提出	40%
使用テキスト・教材					
配布資料・ヘアメイク道具一式、パソコン					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	シラバス説明○+○=オリジナルヘアメイクの考え方				2
2.	○+○=オリジナルヘアメイクの考え方				2
3.	○+○=オリジナルヘアメイクを実際に作る(セルフヘアメイクor相モデル)				2
4.	○+○=オリジナルヘアメイクを実際に作る(セルフヘアメイクor相モデル)				2
5.	ペアを組みブランドコンセプトを決めてヘアメイク・ファッションを考えよう				2
6.	ペアで方向性を決める				2
7.	ブランドコンセプトに基づき、衣装、ヘアメイク、撮影スポットを決めていく				2
8.	ブランドコンセプトに基づき、衣装、ヘアメイク、撮影スポットを決めていく				2
9.	ヘアメイクをグループ内で作っていき、実際の撮影スポットでイメージ				2
10.	小物やパーツ撮りしながら、発表素材を増やす				2
11.	ブランドヘアメイク実技、動画撮影を撮ろう				2
12.	ブランドヘアメイク実技 動画撮影を撮ろう				2
13.	撮影(予定)別日であれば動画、パワポ作成				2
14.	撮影(予定)別日であれば動画、パワポ作成				2
15.	発表、2分プロモーションを最終に流す				2
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			科目コード		
授業科目名			授業形態		学科・コース
ショップマネジメントⅡ			講義・演習		ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	20	1	松本 眞由美
授業の目的・目標					
店舗責任者・売場責任者として計数管理を応用し、品揃え・仕入・販促企画と連動した売上目標の設定から売上利益の把握・分析ができる。					
授業の概要					
店舗運営において必要な売上・仕入・在庫・利益等に関する基本知識を、実習店舗の企画・運営・終了後の分析を通し、実践的に理解する。					
成績評価の方法					
ペーパーテスト（計数管理の基本と実習店舗における応用に関する理解度）				ペーパーテスト	80%
課題（課題に対する理解度、提出期限厳守）				課題	10%
学習意欲（授業に取り組む姿勢や意欲の有無）				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
1年生で使用したテキスト やさしくわかる「お店の数字」 著書：山田 公一 価格：1,540 出版社：日本実業出版社 ISBN-10：4534050437 ISBN-13：978-4534050434 発売日：2013/2/15					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 1年生の復習			2		
2. 店舗企画にもとづく予算配分			2		
3. 予算配分と売上高・利益高予測			2		
4. 利益を確保するための売価設定			2		
5. 日別売上目標設定			2		
6. 販売後の売上集計・利益分析			2		
7. // □報告会準備			2		
8. // □報告会準備			2		
9. // □報告会準備・完成			2		
10. ペーパーテスト			2		
(学校行事や理解度・進捗状況により順序変更の場合がある)					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度	2026年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
ビジネスプランニングⅡ			講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	60	2	片山 留美	
授業の目的・目標						
ブランディング（実店舗及びアラモード）をクリエイティブの力で具現化し、消費者意識やニーズをイメージし構築する手法を身に付ける。						
授業の概要						
1年時に学んだ様々な分野の知識を駆使し、2年間の集大成としての実店舗運営及びアラモードに繋がるオリジナル商品の企画・制作力を身に付け、就職後の即戦力として使える創造性を養う。						
成績評価の方法						
出席率・授業態度・参加意欲・課題を総合的に判断し評価する					平常点	30%
					課題	40%
					学習意欲	30%
使用テキスト・教材						
オリジナルテキスト						
授業内容・授業計画						
						時間数
1. クリエイティブブランディングの目的						4
2. アパレルのブランディング成功事例研究						4
3. 実習①：アイデアを出すトレーニング						4
4. 実習②：コンセプト演習（BDTブランドテーマ及びビジネス科テーマ分析）						4
5. 実習③：インプット演習（マーケットリサーチ）						4
6. 実習④：アウトプット演習（マーケットリサーチ分析→マップ作成）						4
7. 実習⑤：発表→クラスディスカッション						4
8. 実習⑥：コンセプト演習：企画立案（アイデア展開＝アイテムマップ作成）						4
9. 実習⑦：アウトプット演習：企画立案（デザイン展開）						4
10. 実習⑧：アウトプット演習：企画立案（デザイン展開）						4
11. 実習⑨：アウトプット演習：企画立案（プレゼンテーション制作）						4
12. 実習⑩：クリエイティブ演習：制作						4
13. 実習⑪：クリエイティブ演習：制作						4
14. 実習⑫：アウトプット演習（プレゼンテーション）						4
15. まとめ						4
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
実習店舗		演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	金田 真哉
授業の目的・目標					
店舗企画を基に、商業施設において商品仕入から販売促進、店舗演出、接客、ショップマネージメントなどの運営における全ての業務を行い、店舗を形成する業務の一連の流れと全体の構成を理解する。					
授業の概要					
一般消費者に向けての店舗企画・運営を行う事で今の流行や消費者動向を体感し、より就職に向けての意識を高める事が出来る。					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> グループワーク取組み（リーダーシップ、協力姿勢、積極性等） プレゼンテーション（企画発表の内容と表現） ショップ運営取り組み内容 				平常点	30%
				意欲	30%
				運営	40%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
<p>◎企画立案</p> <p>1～20</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品構成・・・Mens商品及びLadys商品の構成比率、運営時季を想定したアイテム別構成 販売促進・・・プロモーション内容、出店店舗までの客導線など デザインファーム図面を基にした店内の客導線と演出内容 <p>プレゼンテーション</p> <p>◎運営準備</p> <p>21～35</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕入れ、値付け、備品購入・設営（各役割内容により異なる） <p>◎反省報告会準備</p> <p>36～43</p> <ul style="list-style-type: none"> データ準備 報告会練習 <p>44～45 ◎実習店舗運営報告会</p>					時間数
					10
					20
					5
					5
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
産学連携プロジェクトII		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	大方 和則
授業の目的・目標					
①OEMの流れを簡潔に説明できる。 ②ポップアップショップの開店方法を簡潔に説明できる。 ③就職活動の企業研究に役立てることができる。					
授業の概要					
産地企業とコラボ商品を委託生産し、ポップアップショップでの販売を通して企画、発注書の作成、インボイス制度や税制、ポップアップショップの開催のスケジュール管理、予算管理など即戦力として必要な知識を学びます。最終的には売り上げの寄付を行います。					
成績評価の方法					
企画書の完成度 70%				企画書の完成度 70%	
受講態度 30%				受講態度 30%	
使用テキスト・教材					
必要に応じてレジュメを配布します。					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. ポップアップショップ開店の流れ①			2		
2. ポップアップショップ開店の流れ①			2		
3. コラボ商品企画①			2		
4. コラボ商品企画②			2		
5. コラボ商品企画③			2		
6. コラボ商品企画④			2		
7. 担当業務の情報共有①			2		
8. 担当業務の情報共有②			2		
9. 開店準備①			2		
10. 開店準備②			2		
11. 開店準備③			2		
12. 開店			2		
13. 開店			2		
14. 開店			2		
15. 売上金の寄付			2		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態		学科・コース	
卒業研究		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	川松 夕見子
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の個性や強みになるような将来に向けた引き出しを作ること。 ・人に伝わる魅力的なプレゼンツールが制作できること。 ・それを就職活動での自己表現ツールとしても活用すること。 					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の強みの開拓や目指す将来像につながるテーマを設定し、それを掘り下げて研究する。 ・研究結果に基づいた最終提案として、自分オリジナルの企画をヴィジュアル化する。 ・全体を一つのファイルとしてまとめ、テーマの魅力が人に伝わるように表現する。 					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究ポートフォリオ（ファイル）提出及び審査 ・下級生向け発表会でのプレゼンテーション 				課題	60%
				平常点	20%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・スライドデータまたはプリント配布 					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 卒業研究の目的と概要、個人研究テーマの設定、個人面談					4
2. テーマについての基本情報収集・整理					4
3. 研究テーマ発表と現状報告					4
4. 基本情報まとめとオリジナル企画の方向性検討					4
5. ↓					4
6. リサーチ／事例研究計画					4
7. リサーチ／事例研究実施					4
8. ↓					4
9. リサーチ／事例研究まとめとオリジナル企画の具体案検討					4
10. ↓					4
11. オリジナル企画のヴィジュアル制作					4
12. ↓					4
13. 全体まとめとプレ審査					4
14. ↓					4
15. 卒業研究発表会概要と発表準備（※発表会は1年生向けにコミ活で実施）					4
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2026年度	
				科目コード		
授業科目名			授業形態	学科・コース		
卒業制作			演習	ファッションビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	100	3	金田 真哉 前田 紗侑里 辻本 真友み	
授業の目的・目標						
2年間の集大成（ファッションビジネス知識・コーディネート提案力・接客マナー・企画立案力）としてチームワークの大切さ、人の心を動かす力を養う。						
授業の概要						
一般のお客様に、2年間の集大成を評価して頂き、就職後の実務経験に活用する事ができる。						
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業意欲 ・リーダーシップ・チームワーク 					平常点	30%
					授業意欲	30%
					チームワーク	40%
使用テキスト・教材						
授業内容・授業計画						
(概要) 予定 ①リアルクローズファッションショーの実施。 ②ショーと連動した展示企画および設営 (その他) ・ヘアメイク指導（前田）15コマ ・ウォーキング指導（辻本）5コマ						時間数 90
その他				関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	2025年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ファッションビジネス特別実習Ⅱ		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	萩原 和幸 渡辺 一弘 金田 真哉
授業の目的・目標					
①業界の今を知り吸収する。 ③就活対策 ②実体験を通じ視野や価値観を広げる。 ④感性を磨く。					
授業の概要					
①スタイリングワーク授業と連動し撮影を行う。 ②セミナー、研修。					
成績評価の方法					
1. 学習意欲（実習への参加度合、参加態度） 2. 課題（提示された課題。）				平常点	40%
				課題	60%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
1. スタイリングフォト 萩原（4コマ） 2. ワークショップ 渡辺（4コマ） 3. 就活対策 佐々木（5コマ） 4. 芸術鑑賞など。 金田（2コマ）					時間数
					8
					8
					10
					4
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					